

令和4年度事務事業評価シート

【基本事項】

| | | | | | | | | |
|----------|----------------------|------|-----|-----|------|---------------------|--|--|
| 事務事業名 | スポーツの振興 | | | | 担当課名 | 教育こども課 | | |
| (予算書コード) | 10-05-01-05-01・10-01 | | | | 担当係名 | スポーツ振興係 | | |
| 事業区分 | 単年度予算 | 運営方法 | 直 営 | 委 託 | 補 助 | | | |
| 事業の開始・終了 | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | (事業に始期又は終期がある場合に記入) | | |
| 根拠法令等の名称 | スポーツ基本法 | | | | | | | |

【事業の概要及び分析】

| | | | | | | | |
|--|--|---------|----|-----|--------|--------|--------|
| 事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか) | 下諏訪町スポーツ推進計画に掲げる「生涯—町民—スポーツ」を基本理念に、スポーツのまち下諏訪として町民の体力の向上、健康志向、いきがいくりの場として、地域に根ざした生涯スポーツ社会の実現を目指す。NPO法人下諏訪町スポーツ協会には、イベント等の開催を委託し、また、スポーツ推進委員によるニュースポーツ教室等の軽スポーツは、子どもから高齢者まで町全体に普及しつつある。 | | | | | | |
| 事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか) | 指標名 | 指標の算出方法 | 単位 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 大会及び教室等への延べ人数参加者数 | 集計数値 | 人 | 目 標 | 26,000 | 26,000 | 26,000 |
| | | | | 実 績 | 7,198 | 22,654 | |
| 達成率 | 27.7% | 87.1% | | | | | |

【投入されたコスト・業務量】

| | | 令和3年度決算 | | 令和4年度決算 | | 令和5年度予算 | |
|---------------|----------------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
| 事業費 | 事業費 A | 6,060 千円 | | 7,379 千円 | | 18,813 千円 | |
| | うち 会計年度任用職員人件費 | 人 | 千円 | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| | 正規職員人件費 B | 0.90 人 | 5,955 千円 | 0.90 人 | 5,912 千円 | 0.90 人 | 6,100 千円 |
| 事業費合計 C (A+B) | | 12,015 千円 | | 13,291 千円 | | 24,913 千円 | |
| 財源内訳 | 特定財源 | 国の負担 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | | 県の負担 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | | 町の借入 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | | その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | うち 使用料・手数料 D | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 (町の負担) | | 12,015 千円 | | 13,291 千円 | | 24,913 千円 | |
| 受益者負担率 (D/C) | | 0 % | | 0 % | | 0 % | |

【事業の評価】

| 区 分 | 評 価 | 説 明 |
|-----|-----|---|
| 妥当性 | B | 町以外では行えない スポーツ振興は、国のスポーツ基本法に基づいて町がスポーツ推進計画を策定し、誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりをめざして、各スポーツ団体等と連携しながら、町が進めていく必要がある。 |
| 公平性 | A | 適切である 大会や教室は、町が主催するものからNPO法人下諏訪町スポーツ協会各専門部が企画するものまで多くの種目があり、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる。 |
| 効率性 | A | 適切である 町民スポーツ大会、各種教室及び講習会等の開催をNPO法人下諏訪町スポーツ協会に委託し、また、体力づくり教室、ニュースポーツ教室及び軽スポーツの事前講座等をスポーツ推進委員が実施しており、効率的・効果的に教室やイベント等が実施できている。 |
| 達成度 | C | 目標値以下である 目標値を下回っているものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴うイベント開催の減少等による要因で大幅に少なかったものが、令和4年度は前年度比314.7%と回復基調である。 |

| | | |
|------------------------------|---------|---|
| 総合評価 | 手法改善 | 令和5年度より新たに策定した「第3期下諏訪町スポーツ推進計画」に基づく施策展開の必要があるため、手法改善とした。 また、新型コロナウイルス感染症によるイベント開催見送り等が解消されつつあり、参加者も回復基調にあるため、現状の施策に係る経過を確認する必要もある。 |
| | 手法改善の内容 | 新たに策定した「第3期下諏訪町スポーツ推進計画」に基づく教室や事業の展開 |
| 前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由) | 手法改善 | |

令和4年度事務事業評価シート

【基本事項】

| | | | | | | |
|----------|-------------------------------------|------|-----|-----|------|---------------------|
| 事務事業名 | スポーツ施設の整備充実 | | | | 担当課名 | 教育こども課 |
| (予算書コード) | 10-05-02-10-01、10-05-03-05-01・10-01 | | | | 担当係名 | スポーツ振興係 |
| 事業区分 | 単年度予算 | 運営方法 | 直 営 | 委 託 | | |
| 事業の開始・終了 | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | (事業に始期又は終期がある場合に記入) |
| 根拠法令等の名称 | | | | | | |

【事業の概要及び分析】

| | | | | | | | |
|--|---|---------|----|-----|---------|---------|---------|
| 事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか) | 体育館、総合運動場、錬成の家及び屋内運動場は、スポーツ振興の拠点となることから、施設の貸し出しから施設管理に至るまで直営により町が行っている。総合運動場の施設整備や貸し出しについては、NPO下諏訪町スポーツ協会及びシルバー人材センターに委託している。 | | | | | | |
| 事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか) | 指標名 | 指標の算出方法 | 単位 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 施設利用者数 | 集計数値 | 人 | 目 標 | 105,000 | 105,000 | 105,000 |
| | | | | 実 績 | 71,716 | 95,461 | |
| 達成率 | 68.3% | 90.9% | | | | | |

【投入されたコスト・業務量】

| | | 令和3年度決算 | | 令和4年度決算 | | 令和5年度予算 | | |
|---------------|----------------|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 事業費 | 事業費 A | 21,715 千円 | | 35,061 千円 | | 65,932 千円 | | |
| | うち 会計年度任用職員人件費 | 人 | 千円 | 人 | 千円 | 人 | 千円 | |
| | 正規職員人件費 B | 1.20 人 | 7,940 千円 | 1.20 人 | 7,883 千円 | 1.20 人 | 8,134 千円 | |
| 事業費合計 C (A+B) | | 29,655 千円 | | 42,944 千円 | | 74,066 千円 | | |
| 財源内訳 | 特定財源 | 国の負担 | 千円 | | 千円 | | 千円 | |
| | | 県の負担 | 千円 | | 千円 | | 千円 | |
| | | 町の借入 | 千円 | | 千円 | | 千円 | |
| | | その他 | 5,718 千円 | | 11,852 千円 | | 35,936 千円 | |
| | | うち 使用料・手数料 D | 5,718 千円 | | 6,771 千円 | | 6,236 千円 | |
| 一般財源 (町の負担) | | 23,937 千円 | | 31,092 千円 | | 38,130 千円 | | |
| 受益者負担率 (D/C) | | 19.282 % | | 15.767 % | | 8.42 % | | |

【事業の評価】

| 区 分 | 評 価 | 説 明 |
|-----|-----|---|
| 妥当性 | B | 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない 町立の施設であり、町が管理運営を行う必要があるが、民間に委託できる部分は可能な限り委託することとしており、経費節減に努めている。 |
| 公平性 | B | 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 検討の余地がある 施設予約は、公平性を期すために窓口申請を原則としており、誰でも申請することができる。使用料については、令和元年度の一部改正に伴い、利用しやすい料金設定になっている。減免制度については、利用対象者や目的等により設定しているものの、適切な費用負担となっているか近隣施設との比較検討が必要。 |
| 効率性 | B | 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 検討の余地がある 施設等の老朽化に伴う改修は、公共施設等総合管理計画(スポーツ系施設 個別施設計画)に基づき施設評価の結果や劣化状況調査の結果から、優先順位を定め、計画的に実施するものの、継続的な維持管理についての手法を研究する必要がある。 |
| 達成度 | C | 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以下である 新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの中止・縮小などの要因により、体育施設利用者数は目標値を下回っているものの、前年度より回復基調となっている。 |

| | | |
|------------------------------|---------|---|
| 総合評価 | 手法改善 | 計画的に体育施設の整備・更新等を進めているものの、廃止や大規模改修が必要な施設について、公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な改修・除却を行う必要がある。また、継続的な維持管理を実施していくためにも民間を活用した指定管理者制度の導入など運営方式を含めた幅広い研究が必要となる。 |
| | 手法改善の内容 | 施設の維持管理を含めた指定管理者制度導入の検討など |
| 前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由) | 現状維持 | 受益者負担の検討から公平性、維持管理の面から効率性の評価低下のため |

令和4年度事務事業評価シート

【基本事項】

| | | | | | | |
|----------|-----------------|------|-----|---------------------|------|---------|
| 事務事業名 | (新)スポーツ推進計画策定事業 | | | | 担当課名 | 教育こども課 |
| (予算書コード) | 10-05-01-12-01 | | | | 担当係名 | スポーツ振興係 |
| 事業区分 | 単年度予算 | 運営方法 | 直 営 | 委 託 | | |
| 事業の開始・終了 | 年 月 ~ | | 年 月 | (事業に始期又は終期がある場合に記入) | | |
| 根拠法令等の名称 | スポーツ基本法 | | | | | |

【事業の概要及び分析】

| | | | | | | | |
|--|---|---------|----|-----|-------|-------|-------|
| 事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか) | 本事業は、国の策定する「スポーツ基本計画」の策定を受け、町民の体力向上、健康増進のため、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに取り組める環境づくりと、地域の活性化を推進することを目的に、平成30年度に策定した、「第2期下諏訪町スポーツ推進計画」の計画期間の満了に伴い、新たな計画を策定するものである。 | | | | | | |
| 事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか) | 指標名 | 指標の算出方法 | 単位 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | スポーツ推進アンケート回収率 | 同左 | % | 目 標 | | 34 | |
| | | | | 実 績 | | 47 | |
| 達成率 | | 138.2% | | | | | |

【投入されたコスト・業務量】

| | | | | | | | |
|---------------|----------------|---------|------|---------|----------|---------|------|
| | | 令和3年度決算 | | 令和4年度決算 | | 令和5年度予算 | |
| 事業費 | 事業費 A | | 千円 | | 489 千円 | | 千円 |
| | うち 会計年度任用職員人件費 | 人 | 千円 | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| | 正規職員人件費 B | 人 | 0 千円 | 0.40 人 | 2,628 千円 | 人 | 0 千円 |
| 事業費合計 C (A+B) | | | 0 千円 | | 3,117 千円 | | 0 千円 |
| 財源内訳 | 特定財源 | 国の負担 | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| | | 県の負担 | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| | | 町の借入 | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| | | その他 | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| | うち 使用料・手数料 D | 千円 | | 千円 | | 千円 | |
| 一般財源 (町の負担) | | | 0 千円 | | 3,117 千円 | | 0 千円 |
| 受益者負担率 (D/C) | | | % | | 0 % | | % |

【事業の評価】

| | | |
|---|----------------|---|
| 区 分 | 評 価 | 説 明 |
| 妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか | B 町以外では行えない | 国のスポーツ基本計画を参酌した上で、町の実情に則した計画を策定するため、町が行う必要がある。 |
| 公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか | A 適切である | 子どもから高齢者まで町民誰もが多く運動・スポーツに親しめる、生涯スポーツ社会の実現を目指すための計画である。 |
| 効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか | A 適切である | 計画案については、スポーツに関する有識者である下諏訪町スポーツ推進審議会で審議することで、効率的な策定を実施している。また、計画の冊子の大部分を職員がデザインをすることで、印刷製本費の縮減に繋がった。 |
| 達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) | A 目標値以上である | スポーツ推進アンケートの回収率はほぼ目標値どおり。「生涯一町民スポーツ」を基本理念とし、スポーツを「みる」「する」「支える」という3つの基本目標を設定することで、わかりやすく、実行性の高い計画となっている。 |

| | | |
|------------------------------|-----|---|
| 総合評価 | 廃 止 | 本計画の期間は、令和5年度(2023年度)から令和9年度(2027年度)までの5年間であり、策定が完了したため事業終了となった。 なお、次期計画の策定は2027年度であり、新たに計画に盛り込む事項が生じた場合や内容に変更が生じた場合には、必要に応じて計画を見直す。 |
| | | |
| 前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由) | | |

令和4年度事務事業評価シート

【基本事項】

| | | | | | | |
|----------|-----------------|------|----|---|------|---------------------|
| 事務事業名 | (新)オリンピック交流継承事業 | | | | 担当課名 | 教育こども課 |
| (予算書コード) | 10-05-01-10-01 | | | | 担当係名 | スポーツ振興係 |
| 事業区分 | 単年度予算 | 運営方法 | 委託 | | | |
| 事業の開始・終了 | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | (事業に始期又は終期がある場合に記入) |
| 根拠法令等の名称 | | | | | | |

【事業の概要及び分析】

| | | | | | | | |
|--|---|---------|----|----|-------|-------|-------|
| 事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか) | 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした、スポーツによる国際交流やまちづくりを促進するために、事前合宿を実施したイタリア・アルゼンチン両国とのレガシーを継承し、継続的な交流を実現するために取り組みを進める。 | | | | | | |
| 事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか) | 指標名 | 指標の算出方法 | 単位 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 事後交流実施国 | 集計数値 | 国 | 目標 | | 2 | 2 |
| | | | | 実績 | | 2 | |
| 達成率 | | 100.0% | | | | | |

【投入されたコスト・業務量】

| | | | | | | | |
|---------------|----------------|---------|------|---------|----------|---------|----------|
| | | 令和3年度決算 | | 令和4年度決算 | | 令和5年度予算 | |
| 事業費 | 事業費 A | | 千円 | | 1,265 千円 | | 1,500 千円 |
| | うち 会計年度任用職員人件費 | 人 | 千円 | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| | 正規職員人件費 B | 人 | 0 千円 | 0.40 人 | 2,628 千円 | 0.40 人 | 2,711 千円 |
| 事業費合計 C (A+B) | | | 0 千円 | | 3,893 千円 | | 4,211 千円 |
| 財源内訳 | 特定財源 | 国の負担 | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| | | 県の負担 | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| | | 町の借入 | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| | | その他 | 千円 | | 千円 | | 千円 |
| | うち 使用料・手数料 D | 千円 | | 千円 | | 千円 | |
| | 一般財源 (町の負担) | | 0 千円 | | 3,893 千円 | | 4,211 千円 |
| 受益者負担率 (D/C) | | | % | | 0 % | | 0 % |

【事業の評価】

| | | |
|---|----------------|--|
| 区分 | 評価 | 説明 |
| 妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか | B 町以外では行えない | 下諏訪町と関係国の自治体又は団体との交流を実現するための取り組みのため、町で行う必要がある。ただし、準備の過程において、事前合宿に協力いただいた団体(県ボート協会等)と連携した取り組みを行う。 |
| 公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか | A 適切である | オリンピック・パラリンピックを契機とした町民と関係国との交流推進やスポーツ振興に繋げるための事業である。 |
| 効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか | A 適切である | 限られた人員であるが、関係団体との連携により効率的に進められている。 |
| 達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) | B 目標値どおりである | 令和4年度は両国の事前合宿に係る支援協力いただいた事業者と引き続き取り組みに向けた事業を遂行することができた。 |

| | | |
|------------------------------|----|---|
| 総合評価 | 拡充 | 令和4年度においては、アルゼンチンの来訪を実現し、感謝状の贈呈を受ける等、事後交流事業を遂行することができた。両国との今後の交流についての折衝・調整、検討を進めることができたため、今後具体的な連携に向けた取り組みを推進する必要がある。 |
| | | |
| 前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由) | | |

令和4年度事務事業評価シート

【基本事項】

| | | | | | |
|----------|-------------------------------|------|-----|------|---------|
| 事務事業名 | (新)ナックルフォア艇購入事業 | | | 担当課名 | 教育こども課 |
| (予算書コード) | 10-05-03-10-01 | | | 担当係名 | スポーツ振興係 |
| 事業区分 | 単年度予算 | 運営方法 | 直 営 | | |
| 事業の開始・終了 | 年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入) | | | | |
| 根拠法令等の名称 | | | | | |

【事業の概要及び分析】

| | | | | | | | |
|--|---|---------|----|-----|-------|-------|-------|
| 事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか) | 令和5年度に開催を予定している第32回全国市町村交流レガッタ下諏訪大会の開催に伴い、大会競技にて利用するナックルフォア艇を新たに購入するもの。大会利用のほか、高齢者のボート競技者への活動支援や健康増進、小中学生へのボート競技の普及など幅広い世代での活用を目的としている。 | | | | | | |
| 事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか) | 指標名 | 指標の算出方法 | 単位 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | ナックルフォア艇購入数 | 同左 | 艇 | 目 標 | | 7 | |
| | | | | 実 績 | | 7 | |
| 達成率 | | 100.0% | | | | | |

【投入されたコスト・業務量】

| | | 令和3年度決算 | 令和4年度決算 | 令和5年度予算 | |
|---------------|----------------|---------|-----------------|----------|----|
| 事業費 | 事業費 A | 千円 | 9,460 千円 | 千円 | |
| | うち 会計年度任用職員人件費 | 人 千円 | 人 千円 | 人 千円 | |
| | 正規職員人件費 B | 人 0 千円 | 0.30 人 1,971 千円 | 人 0 千円 | |
| 事業費合計 C (A+B) | | 0 千円 | 11,431 千円 | 0 千円 | |
| 財源内訳 | 特定財源 | 国の負担 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | | 県の負担 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | | 町の借入 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | | その他 | 千円 | 5,081 千円 | 千円 |
| | うち 使用料・手数料 D | 千円 | 千円 | 千円 | |
| 一般財源 (町の負担) | | 0 千円 | 6,350 千円 | 0 千円 | |
| 受益者負担率 (D/C) | | % | 0 % | % | |

【事業の評価】

| 区 分 | 評 価 | 説 明 |
|---|--------------------|--|
| 妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか | B 町以外では 行えない | 県内唯一の漕艇場を保有しており、当該施設のスポーツ環境の向上を目的として取り組む事業であるため。 |
| 公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか | A 適切である | 町漕艇場にて実施するボート競技に係る事業であり、幅広い対象の利用を目的とした事業であるため。 |
| 効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか | A 適切である | 入札等の執行など、購入手続きに向けた適切な処理が必要最小限の人員により行われた。 |
| 達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) | B 目標値どおりである | 目標設定した艇数の購入を実施できた。 |

| | | |
|------------------------------|-----|---|
| 総合評価 | 廃 止 | 予定した事業を完了したため、廃止とする。今後購入した艇による事業効果及び利用状況を注視し、引き続きスポーツ環境の向上に努める。 |
| | | |
| 前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由) | | |